

環境エンリッチメント実践型ワークショップ

# 飼育動物の 栄養、行動、福祉を 考える

事前申込制 30名

2016年1月30日(土)

9:00-17:00

京都市動物園

対象 動物園水族館関係者、研究者

※定員になり次第募集終了。  
学生の方も応募できますが、ワークショップの性質上、  
動物園水族館関係者を優先させていただきます。

参加費 1000円 (保険・昼代込)

お問い合わせ

SHAPE-Japan事務局

registration@enrichment-jp.org

主催:SHAPE-Japan

共催:京都市動物園

協力:京都大学研究大学強化促進事業「百家争鳴」プログラム

後援:(公社)日本動物園水族館協会

京都大学霊長類学・ワイルドライフサイエンスリーディング大学院

京都大学野生動物研究センター

科学研究費補助金 基盤研究(S)「野生の認知科学:こころの進化と  
その多様性の解明のための比較認知科学的アプローチ」

エンリッチメントのAを語る





今回のワークショップでは、第一線で活躍する動物園関係者・研究者が集まり、それぞれの飼育現場で取り組むさまざまなエンリッチメントの現状について報告します。

また、食肉目を対象としたワークショップを題材として、エンリッチメントが動物に与える影響、そして今後の課題解決や展望について多様な立場で意見交換をおこないながら理解を深めていきたいと考えています。霊長類、草食動物などを始めとする幅広い動物種・学問分野の観点から環境エンリッチメントについて再考することを目指しております。

多くのみなさまのご参加をお待ちしております。

09:00 はじめに

09:10 講演1 栄養学的観点から環境エンリッチメントを再考する  
八代田 真人(岐阜大学・応用生物科学部・准教授)

09:45 講演2 日本国内・世界の環境エンリッチメント事情  
橋本 直子(SHAPE-Japan / 京都大学・霊長類研究所)・  
萩原 慎太郎(福山市立動物園)、  
油家 謙二(天王寺動物園)、荒井 雄大(盛岡市動物公園)、  
木岡 真一(恩賜上野動物園)、伴 和幸(大牟田市動物園)

11:10 エンリッチメントワークショップ① —食肉目に焦点をあてて  
計画およびグループディスカッション

12:00 昼食休憩

13:00 エンリッチメントワークショップ②  
設置と観察、およびグループディスカッション

16:00 講演3 タンザニア・マハレの野生のヒョウの調査から  
大谷 ミア(京都大学・野生動物研究センター)

16:20 まとめ 環境エンリッチメントの科学的評価に向けて  
山梨 裕美(SHAPE-Japan / 京都大学・野生動物研究センター・特定助教)

申し込み

SHAPE Japanのホームページ、またはEメールから、以下のとおりお申し込みください。  
応募の結果は、当落にかかわらずお知らせします。

■ SHAPE Japan ホームページ

<http://www.enrichment-jp.org> の応募フォームページからお申し込みください。

■ Eメール

[registration@enrichment-jp.org](mailto:registration@enrichment-jp.org) 宛に、件名を「ワークショップ参加」とし、本文に参加者全員の氏名(ふりがな)・年齢・電話番号・担当している動物種(任意)を記入してお送りください。お申し込みの際は、@enrichment-jp.orgからのEメールを受信できるよう、迷惑メールフィルターやメールソフトを設定してください。

締め切り 2016年1月12日(火) 送信分まで有効